

## 個人情報の漏えいに関するお詫びとご報告（続報）

2021年3月30日

一般財団法人電気工事技術講習センター

2021年2月2日、当センターが実施しております「第一種電気工事士定期講習」（以下「定期講習」という。）に係る受講者の個人情報がインターネット上で閲覧可能な状態になっていたことが判明いたしました。（2月22日お知らせ済み）

この度、当該事象に関する原因究明と今後講ずべき再発防止対策の検討結果がまとまりましたので、その内容を以下のとおりお知らせいたします。この内容につきましては、第三者の外部有識者からなる「第一種電気工事士定期講習に係る個人情報保護対策検討委員会」において検討・確認をいただきました。

定期講習ご受講の皆様及び関係者の皆様にご迷惑とご心配をおかけしたことを改めて深くお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めてまいります。

### 1. 閲覧された個人情報とご関係者への対応

2021年2月22日の発表時点では、合計59人の定期講習ご受講の皆様の個人情報が第三者により閲覧されたことを確認していましたが、その後の調査で、同様の漏えいは2020年3月から発生していたと推定されるとともに、新たに27人の受講者の方の個人情報の第三者による閲覧が確認され、合計86人となりました。閲覧可能であった個人情報は、氏名、生年月日、住所、電話番号、メールアドレス、勤務先名・部署・所在地・電話番号及び第一種電気工事士免状番号・交付日であり、クレジットカード情報は含まれておりません。これらの個人情報は、2月2日の通報ののち、すぐに閲覧できないように措置し、現在これら個人情報は、すべて閲覧できないようになっております。

また、現在までのところ、定期講習ご受講の皆様の個人情報の不正使用等は確認されておりません。

対象となった関係者の皆様には、当センターより個別にお詫びとご説明の電話をいたしました。

### 2. 原因究明と再発防止対策

#### (1) 漏えいの原因

今回の個人情報の漏えいの直接の原因は一部の画面にアクセス制限の設定不備があったことで、そのため当該画面の個人情報が外部からの閲覧可能な状態となっていました。加えてシステムのセキュリティチェックを十分行っていなかったことなど個人情報保護の観点からの当センターの対応が十分ではありませんでした。

#### (2) 類似事象の確認

今回外部からの閲覧が確認された画面以外の個人情報に係る画面についてはアクセス制限が講じられていたこと、サイバー攻撃等により当該システムにおいて定期講習に係る個人情報が外部に流出した形跡はなかったこと、及びオンラインで申込みを受け付けている他の講習では漏えいがなかったことを確認しました。

#### (3) 再発防止対策

個人情報の漏えいの再発防止のため、システム構築上の取組みとシステム運用面での個人情報の漏えいに対する取組みの強化を行います。併せて、個人情報保護に係る体制のさらなる強化に取り組むとともに、全職員に対する個人情報保護のための教育を充実します。これらにより、講習業務の実施における個人情報保護のより一層の徹底を図ってまいります。

(お問合せ先)

総務部

電話：0120-148-469

(平日 9:00～17:15)